

**子どもの命・安全を守る地域貢献活動「地域安全マップづくり教室」が
「キッズデザイン賞」優秀賞を受賞！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動として「地域安全マップづくり教室」を開催していますが、このたび「第4回キッズデザイン賞」（主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、後援：経済産業省）において、優秀賞（キッズセーフティ部門）キッズデザイン協議会会長賞を受賞しました。

今回の受賞は、「安全マップづくりという行為を通じて、見過ごしがちな自分の住む街の細部（危険）を知ることができる意義のある活動であり、さまざまな社会学習への展開の可能性を感じさせる」と評価をいただいたものです。なお、同賞での優秀賞受賞は、生命保険会社の取り組みとしては、初めてとなります。

当社は、引き続き「子どもの健全育成」をテーマとする活動をはじめ、さまざまな地域・社会貢献活動に取り組んでまいります。

1. 「地域安全マップづくり教室」*の概要

「地域安全マップづくり教室」は、子どもたち自身が安全について考え、「自ら危険を回避する能力を身につけさせる」ことを目的に、地域の小学生とその保護者の参加を呼び掛け、開催している教育プログラムです。地域安全マップを考案された立正大学文学部社会学科教授小宮信夫氏にご協力いただき実施しています。犯罪が起きやすい場所の共通点「入りやすく」「見えにくい」危険な場所を街に出て学ぶフィールドワークとマップづくりの「体験型学習プログラム」であることが特徴です。

2. 「キッズデザイン賞」について

「キッズデザイン賞」は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」、そして、「子どもたちを産み育てやすいデザイン」を顕彰する制度です。子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動など幅広い分野を表彰の対象としており、受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。



*同教室は、後援「だいじょうぶキャンペーン実行委員会」、協力「NPO法人地域安全マップ協会」により開催しています。

以上



マップづくりの授業風景



完成したマップ